

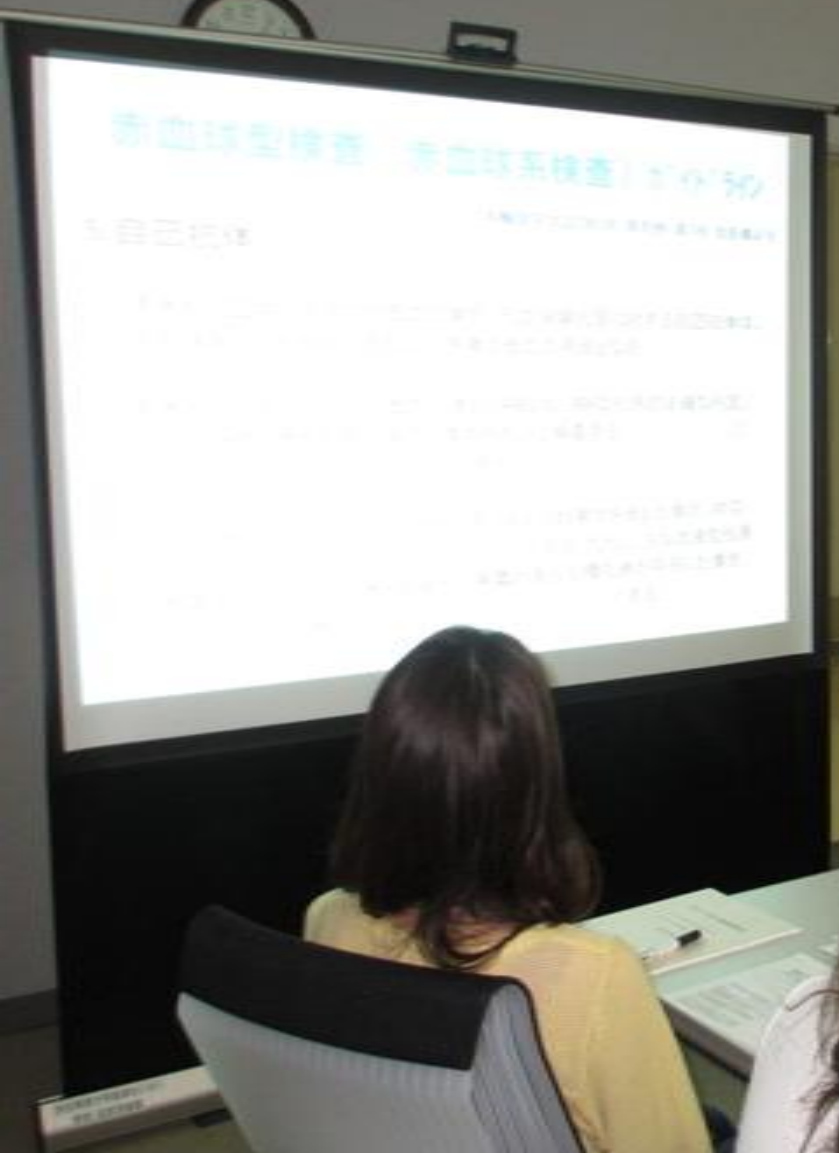
大分日赤輸血検査研修会

平成25年6月9日

中級編







赤血球型検査（赤血球系検査）について

5. 自己抗体

5.1 自己抗体とは、免疫系が自分の赤血球を攻撃する抗体のことです。
原因が不明な溶血性貧血や、自己免疫性溶血性貧血、
溶血性黄疸や脾臓腫大など、原因不明の貧血や黄疸、
脾臓腫大などがあります。

5.2 自己抗体が赤血球表面に結合すると、赤血球が破壊され、
黄疸や貧血、脾臓腫大などの症状が現れます。
自己抗体の種類によって、症状の程度や経過が異なります。

5.3 自己抗体が赤血球表面に結合すると、赤血球が破壊され、
黄疸や貧血、脾臓腫大などの症状が現れます。
自己抗体の種類によって、症状の程度や経過が異なります。
自己抗体の種類によって、症状の程度や経過が異なります。























